

# 児童



## 茶臼原小学校経営デザインシート

令和5年度

- I 自分ができる。
- II 自分のわかったことが説明できる。
- III 自分のわかったことが教えることができる。
- IV 自分がわかっている事を分からない友達に支援できる。

◎ 分からないときは、周りの子へ「教えて」と聞ける子を育てる。(他人への依存) →自立につながる  
 \* 分かっている子は、「教えてやろうか」とは言ってはいけない。あくまで、聞いていいよというオーラを出せる子にする

1・2年生

◎友達の話が、最後までしっかり聞ける子を育てる  
 (お互い相手の目を見て)

3・4年生

◎2人または4人のグループで分からないことが聞き合える  
 IVの児童を50%

5・6年生

◎2人または4人のグループで分からないことが聞き合える  
 IVの児童を75%

### 自立した児童の育成 = 聞き合える関係作り

#### 先生



##### 自立を促す魔法の言葉

先生方も聞き合える関係を！

- 1 どうしたの？
- 2 どうしたいの？
- 3 何か手伝えることはある？ こんなことなら手伝えるけど
- 4 ○○さんに聞いてごらん（本当に聞けるか、聞いているかを見守る）\*禁句「○○さん、△△さんに教えてあげて」

#### 家庭

##### 自立を促す魔法の言葉

- 1 「～なの」と、子どもの言った台詞を復唱する。
- 2 「なんで？」と聞かない  
 <言われたこどもは、言い訳を探し出す>
- 3 どうしたの？ どうしたいの？（どうすればいいの？）  
 なにか手伝うことある？

<基礎的環境整備>

- わかりやすい授業<視覚・口頭>
- 授業への参加度をあげる
- 読み、書き、計算はきちんと

<学級経営及び学校全体で取り組む>

- 自己肯定感、自己有用感をあげる 授業では、子どもの考えをつなげ、ひろげる
- できていないことに目をむけるのではなく、普通にできていることを賞賛する
- どうすればよいか決めさせる